



2019年11月11日

各位

会社名 阪和興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 弘成
(コード：8078 東証第一部)
問合せ先 取締役 専務執行役員 中川 洋一
(TEL. 03-3544-2000)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年8月9日の2020年3月期第1四半期決算発表時に開示した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想及び2020年3月期（第73期）の1株当たり配当予想に関して修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,200,000	百万円 35,500	百万円 28,000	百万円 19,200	円 銭 472.50
今回修正予想（B）	2,000,000	31,000	18,500	10,700	263.30
増減額（B－A）	△200,000	△4,500	△9,500	△8,500	—
増減率（％）	△9.1	△12.7	△33.9	△44.3	—
（ご参考）前期連結実績 （2019年3月期）	2,074,600	28,904	23,395	13,914	342.41

(2) 業績予想の修正の理由

連結売上高、連結営業利益につきましては、各事業セグメントにおいて需要が弱含むなか、当社の取扱数量が総じて減少したほか、石油製品や各種金属商品の価格が下落したことなどにより事業収益が低下し、前回公表値を下回る見込みとなりました。

また、連結経常利益や親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主に持分法適用会社であるSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD.の業績が期初想定から下振れしており、同社を取り巻く事業環境は当連結会計年度においては厳しい状況が続くと見込まれるため、通期の予想を見直しました。

なお、2019年6月5日に発表しました当社の連結子会社であるHANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD.で発生した取立遅延債権につきましては、現時点では当期の連結業績に与える影響額が未確定であることから、業績予想数値には織り込んでおりません。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	75 円 00 銭	75 円 00 銭	150 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		(未定)	(未定)
当 期 実 績	75 円 00 銭		
前 期 実 績 (2019 年 3 月 期)	75 円 00 銭	75 円 00 銭	150 円 00 銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主への継続的な利益の還元を経営の最重要政策の一つとして考えております。株主に対しては安定した配当を継続して実施することを第一義とするとともに、不断に収益力の向上に努め、基礎的な収益水準の上昇とともに戦略的投資からの利益回収状況に合わせて、配当額の増加を目指しております。これに基づき、当期の配当については、中間配当一株当たり 75 円、期末配当一株当たり 75 円とする方針でした。

しかしながら、前頁「1. 業績予想の修正について」のとおり、戦略的投資先である SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD. の業績が期初想定から大きく下振れしていることによる当社保有資産価値への影響、加えてその他の上場有価証券の株価変動の影響や HANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD. の滞留債権回収の帰結など、現時点では会計処理上業績予想に織り込むことの困難な未確定要素が多いことから、期末配当につきましては、今後の業績への影響見通しが得られ次第、速やかにお知らせすることといたします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上